



東日本大震災への香川大学の対応について

東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災され不自由な生活を余儀なくされている方々には心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧・復興と皆さまのご健康をお祈り申し上げます。

本学における東日本大震災への対応は、以下のとおりです。

1. 安否の確認

3月14日(月)までに、東北北関東方面出身の学生10名および同方面(東京都含む)に出張中の教職員20名の安否確認を行い、全員無事を確認しました。

また、同方面からの入学予定者6名は全員無事入学しました。

2. 医学部附属病院による支援活動

- ・3月11日(金)～13日(日)、県の要請によりDMAT(Disaster Medical Assistance Team: 災害医療援助チーム)として医師2名、看護師2名、臨床工学技士1名、連絡調整員1名、計6名を福島県福島空港に派遣、被災者の広域搬送支援活動を実施しました。
- ・3月15日(火)～21日(月)、日本放射線技士会の要請により、放射線技士1名を福島県郡山市に派遣、放射線スクリーニング検査支援活動を実施しました。
- ・3月20日(日)～26日(土)、警察庁および日本法医学会の要請により、法医学教授1名を岩手県盛岡市に派遣、検案支援を実施しました。
- ・3月18日(金)、救護班支援本部を設置し、県の要請により、医師1名、看護師2名で編制する救護班4班(第1班(3/21～3/24) 第2班(3/25～3/28) 第3班(4/8～4/11) 第4班(4/28～5/1))を宮城県南三陸町に派遣、避難所等での医療活動を実施しております。
- ・今後も要請に応じて、支援活動を実施してまいります。

3. 学生への経済支援

被災した学生に対する経済支援として、「入学料免除」、「授業料免除」、「日本学生支援機構奨学金」、「学生短期貸付制度」の各制度があります。被災地出身学生1名が「入学料免除」を申請し受理しております。

4. 「香川大学東日本大震災復興支援対策本部」の設置

3月28日(月)、全学が一体となって被災地の復興に一層貢献していくため、「香川大学東日本大震災復興支援対策本部」を設置しました。情報収集、支援内容の決定、学内外の連絡調整等に当たります。(本部長:学長 一井眞比古 副本部長:理事(学術・国際・広報担当) 田島茂行)

5. 教職員・学生の復旧ボランティア活動の動き

- ・4月4日(月)～8日(金)、教育学部教員が所属するボランティア団体メンバーとともに、宮城県石巻市に赴きました。
- ・4月6日(水)～10日(日)、学生ボランティア団体「Let's help Japan !! PROJECT」学生3名と卒業生1名の計4名が、宮城県山元町役場に赴きました。必要物資(下着、ノート、筆記具、缶詰など)も合わせて提供しました。

- ・4月14日(木)～20日(水)、工学部学生が所属するボランティア団体が企画する「東北被災地激励キャラバン隊」に参加し、宮城県石巻市へ赴きました。
- ・今後、学生ボランティアが復旧・復興への大きな力となることを踏まえ、学生ボランティアに対する単位認定や修学上の配慮、安全の確保、災害保障などについて検討を行っております。なお、既に教育学部の専門課程において、ボランティア活動を単位認定する制度(4年間で延べ45時間以上のボランティア活動を行った場合2単位とする)があります。

6. 物資支援および募金活動

- ・3月18日(金)に避難所向けの支援物資を中四国の他大学とともに岡山大学に集荷のうえ、陸上自衛隊の車輛にて東北大学に届けました。
- ・これまでに教職員から405万円の義援金が寄せられた他、帰国留学生ネットワーク(香川大学への留学生OB)中国支部より42万円が寄せられ、合わせて4月19日(火)に日本赤十字社香川県支部に寄託しました。甚大な被害に鑑み、募金活動については継続的に行ってまいります。
- ・学生2団体(「Let's help Japan !! PROJECT」,「SOKUS(香川大学学生災害復興支援団体)」)が学内および街頭募金等活動を行っております。
- ・なお、2月22日にニュージーランド・クライストチャーチ市で発生した地震の被害に対する義援金として教職員から34万円が寄せられました。寄せられた義援金は、クライストチャーチ市に寄付するため、本学の学術交流協定大学であるクライストチャーチポリテク工科大学に寄託しました。

7. 危機管理研究センターによる被災地調査

4月2日(土)～3日(日)、香川大学危機管理研究センター(センター長：白木 渡)により、東京湾沿岸および房総半島沿岸において、被害状況の調査を行いました。今後、さらに調査を重ね、地域の防災関係者とも連携しながら、東日本大震災を教訓とした提言を行ってまいります。

なお、本日(4/28)、18時30分より、研究交流棟6階の生涯学習教育センターにおいて、危機管理研究センター主催の「ボランティアのためのメンタルヘルズ講習会」を開催いたします。

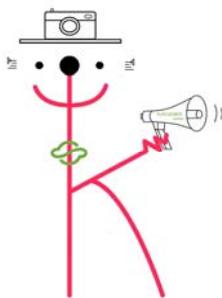
8. 留学生への対応

3月18日(月)、留学生のための東日本大震災関連の「緊急相談窓口」を開設する他、大学ホームページにおいて、香川県は震災および原子力災害ともに直接的な被害が無い旨を説明するとともに、関連情報(英語)の入手先を案内するなど情報提供に努めております。

9. その他

- ・高松市中央卸売市場の招請により、原発災害による風評被害の防止を目的とした放射性物質に関する基礎知識や生鮮食料品の安全・安心に関する研修会へ講師派遣を予定しております。
- ・福島県および周辺県水道事業における水道水の放射性物質検査支援について、要請に応じて対応いたします。
- ・香川大学が保有する宿舍への被災者受け入れ要請があった場合、家族用10室、単身用38室の提供が可能です。

以上



➤ 問い合わせ先

香川大学 広報センター 仲田・成重

TEL : 087-832-1029・1027 FAX : 087-832-1115

E-mail : koho0@jim.ao.kagawa-u.ac.jp